

中高一貫教育について

高校教育課

1 教育委員による視察状況

視察日時	視察校	視察委員	視察内容
8月25日(火)	京都府立洛北高校	伊藤、耳塚委員	別紙のとおり
9月8日(火)	東京都立白鷗高校 千葉県立千葉高校	矢崎委員長、 野村、長岡委員	

2 屋代高校について

- (1) 沿革
- 大正12年 長野県埴科中学校として創立
昭和23年 屋代東高校となる。
昭和38年 屋代高校と改称
平成4年 理数科設置
- (2) 教育目標
- 創立以来の質実剛健の校風を継承して、次の三綱領を定める。
- 1 学力の充実と、知性の啓発に努める。
 - 2 自主独立の気風を養い、創造性を育成する。
 - 3 情操豊かな人間性を陶冶し、健康な身体を錬成する。
- (3) 学校の特徴 (別添学校案内参照)
- (4) 交通の利便性など
- ア 東北信地区の公立小学校の配置と主な駅(別紙)
イ 屋代高校までの鉄道の所要時間(別紙)

京都府立洛北高等学校附属中学校・高等学校

- | | | |
|------|---------|---------------|
| 1 沿革 | 明治3年12月 | 京都府中学校として開校 |
| | 昭和23年4月 | 京都府立洛北高等学校と改称 |
| | 平成16年4月 | 併設型中高一貫校開校 |

2 特色

基本コンセプトを「SCIENCE(サイエンス)」とし、どのような分野に進むとしても、自然科学の基本的な素養をしっかりと身につけることが大きな力となるとの考えに基づき、学校独自教科「洛北サイエンス」を設定。仮説・実験・検証などの体験的な学習や大学・企業・研究所などと連携した専門家等による直接指導を取り入れ、本物に触れ、本物から学ぶ学習をとおり、知的欲求を膨らませることを目標とする。

3 教育課程

<附属中学校>

- ・国、社、数、理、英の5教科で3講座展開の少人数授業を実施(1講座26~27人)。
- ・7時間目授業や土曜補習等による豊富な授業時数を計画的に確保。中学3年で高校の学習内容を履修。

<高等学校>

- ・附属中学校からの進学者は独立したクラスとし、6年一貫の独自カリキュラムを編成。
- ・高校からの入学生は、 類(標準2学級)・ 類(学力伸張2学級)・ 類(体育1学級)の3つのコースごとに独自カリキュラムを編成。

4 選抜方法

- ・2学級80人募集 男女別募集はなし
- ・作文、製作()を実施
製作は、文章や図表・数式等により出題。知識や技能を総合的に活用し、自分の考えを理由をつけてまとめるというもの。

5 その他

(1) 教員について

- ・市町村立中学校の教員が人事異動で転入。
- ・中高教員間での授業交流を実施。高校の教員が中学の授業を担当する場合もあるし、その逆もある。

(2) 校舎利用状況

- ・中高の共用部分を含め、中高の一体感が保てるように区画。
- ・職員室は中高同室。広いスペースに学年担当ごとに机が配列されている。
- ・保健室は発達段階の違いに配慮し、中高別々に設置。

(3) 生徒への対応

- ・高校入学時に選抜がないため、中学3年次での学びのモチベーションを高い状態で維持させていくことが課題。
- ・中学校の課程を終了した時点で、他の高校を受検した場合には、併設高校への進学はできないと説明している。これまでに他の高校への受検希望者はいない。

東京都立白鷗高等学校附属中学校・高等学校

- | | | |
|------|---------|---------------|
| 1 沿革 | 明治 21 年 | 東京府高等女学校として創立 |
| | 昭和 25 年 | 東京都立白鷗高等学校と改称 |
| | 平成 17 年 | 併設型中高一貫校開校 |

2 特色

江戸情緒を色濃く残し、下町の人情味あふれる環境の中にあるという地域性を教育活動に活かし、日本の伝統文化を理解する学習を行うとともに、国際理解教育にも力を入れ、世界の中の日本人として、さまざまな場面や分野でリーダーとして活躍する生徒の育成を目指す。

3 教育課程

- ・中学校では、日本語の表現力を高める「プレゼンテーション」、社会と自分の関わりについて学ぶ「社会と私」などの選択教科を設置。
- ・高校では、さらに内容を発展させた「Presentation in English」、日本の伝統文化を学ぶ「邦楽」、「日本文化概論」などの教科・科目を設置。
- ・「辞書は友達 予習は命」を合言葉に、予習中心の学習に取り組む雰囲気醸成。特に国語、数学は基礎・基本の充実とともに発展的な学習を行う。自宅学習に重きを置いて、高い現役大学進学率の達成を目指す。
- ・附属中学校からの進学者と高校からの入学者は、高校2年次から一緒のクラスとなる。

4 選抜方法

- ・4学級 160人募集
- <一般枠> 144名(男女半数ずつが基本)
- ・適性検査 思考力や判断力、表現力を生かし、問題を解決する総合的な力をみる。
- ・適性検査 課題を発見し、解決する方法についての確に文章にまとめる力をみる。
- <特別枠>
- ・区分A 10名 国語、算数、英語のいずれかの分野で卓越した能力を有する者
- ・区分B 6名 囲碁・将棋・邦楽・邦舞・演劇分野で、専門家との対局や実技検査を実施

5 その他

(1) 教員について

- ・中学の教員の多くは東京都の公募により確保。他は、区や市の中学校の教員が人事異動で転入。
- ・中学校教員2名、高校2名の加配がある。
- ・中高間で授業交流が行われている。学級担任についても同様。

(2) 校舎利用状況

- ・東校舎(中1、2生)と、600m程離れたところにある西校舎(中3、高1~3生)の2キャンパス。少子化により空いた公立中学校を中学校として利用。
- ・保健室、理科実験室等は両キャンパスに設置。
- ・授業に合わせ、教員は両キャンパス間を移動。

(3) 生徒への対応

- ・中だるみの防止という訳ではないが、常に豊富な宿題を出している。提出物についても厳しく指導している。
- ・中学校の課程を終了した時点で、他の高校の受検を希望する場合には、併設高校への進学はできないことにしている。

千葉県立千葉中学校・高等学校

- | | | |
|------|---------|---------------|
| 1 沿革 | 明治 11 年 | 千葉中学校として創立 |
| | 昭和 23 年 | 千葉県立千葉高等学校と改称 |
| | 平成 20 年 | 併設型中高一貫校開校 |

2 特色

次代を担うリーダーには、どのような分野においても、幅広い教養と深い思考力、的確な判断力、確かな表現力が必要であるとの考えに立ち、6年間を見通して全教科をバランスよく学ぶ「重厚な教養主義」を謳う。受験学習に特化することなく、基礎・基本をしっかり身に付けた上で偏りのない高いレベルで学び、自ら探究し表現していくことで更に向上するというサイクルを、社会の人々とのふれあいを通して繰り返していく。

3 教育課程および教育活動

(1) スパイラル学習

中学と高校の重複する学習領域をより深い学びの機会ととらえ、積極的に重複を活用。再び同じ領域を学ぶ時には、それまでの学びの広がりを支えとして、より高いレベルの深い理解に達するような学習活動を展開し、私学の多くで行われているような高校内容の先取り学習はしない。

(2) 協同的な学び

グループ学習を授業の中で活用。様々な考え方の交流を通して、基礎・基本の確実な習得と高い思考力・表現力の育成を図る。一人ではなく、他者と協同して世の中をより良く変えていくリーダーとしての資質につながる学び。

4 選抜方法

- ・2学級 80人募集（男女半数ずつが基本）
- ・適性検査 1

文章や資料等の内容を読み取り、自分の考えをまとめ、表現する力をみる。
(この検査により、適性検査2の受検者を募集定員の6倍程度にまで絞る)

- ・適性検査 2

課題を理解し、解決に向けて筋道を立てて考え、表現する力をみる。

5 その他

(1) 教員について

- ・教員の確保は中高交流人事や公募による。公募は中高一貫重点校として行っている。
- ・中高教員間での授業交流が行なわれている。

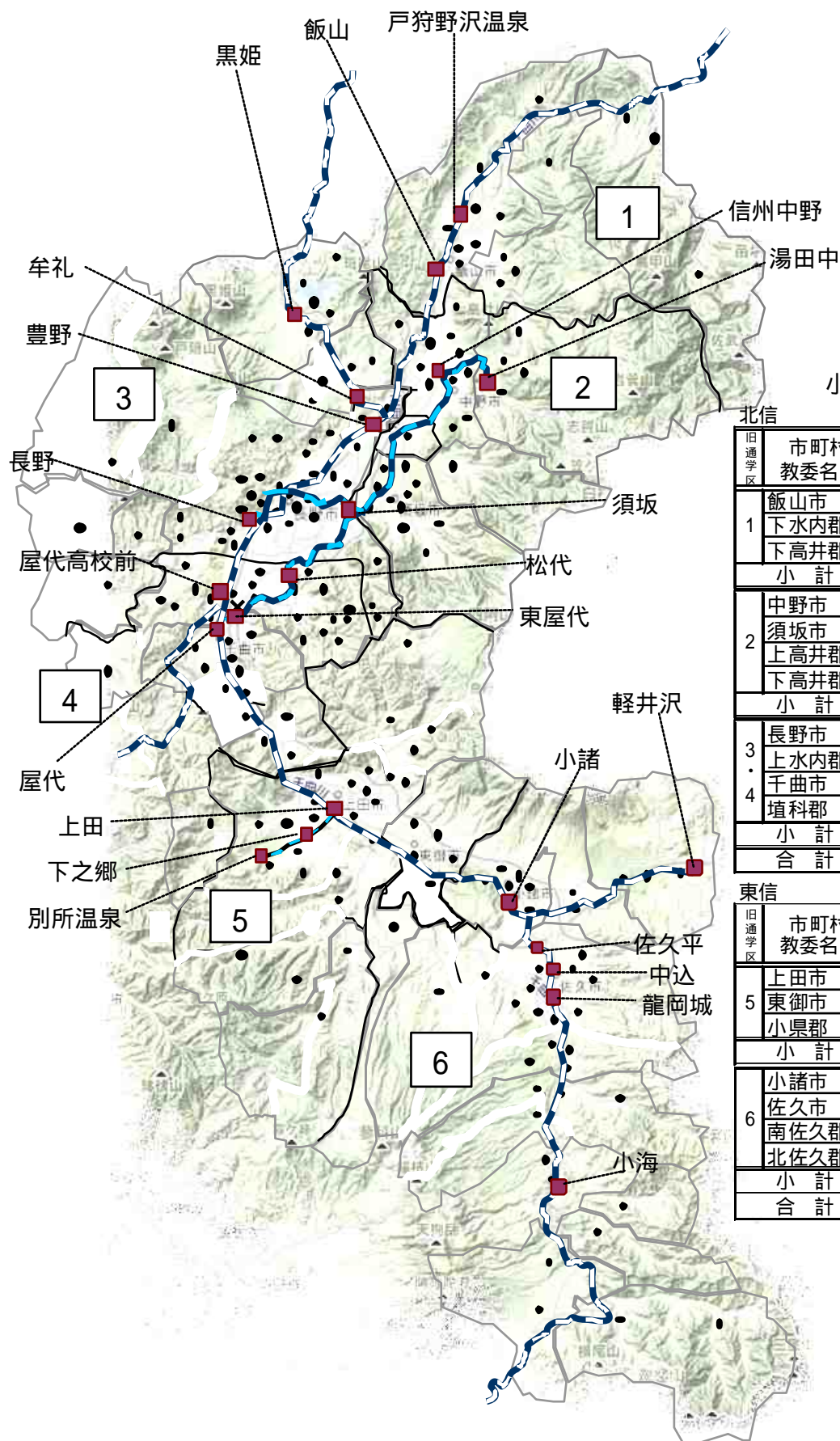
(2) 校舎利用状況

- ・中学校職員室あり。
- ・来年秋から中学棟（6学級分）の建設に着工。

(3) 生徒への対応

- ・中だるみの心配はしていない。中学3年次では卒論を課す。
- ・中学校の課程を終了した時点で、他の高校の受検を希望する場合は、併設高校への進学はできないとする予定。

東北信地区の公立小学校の配置と主な駅

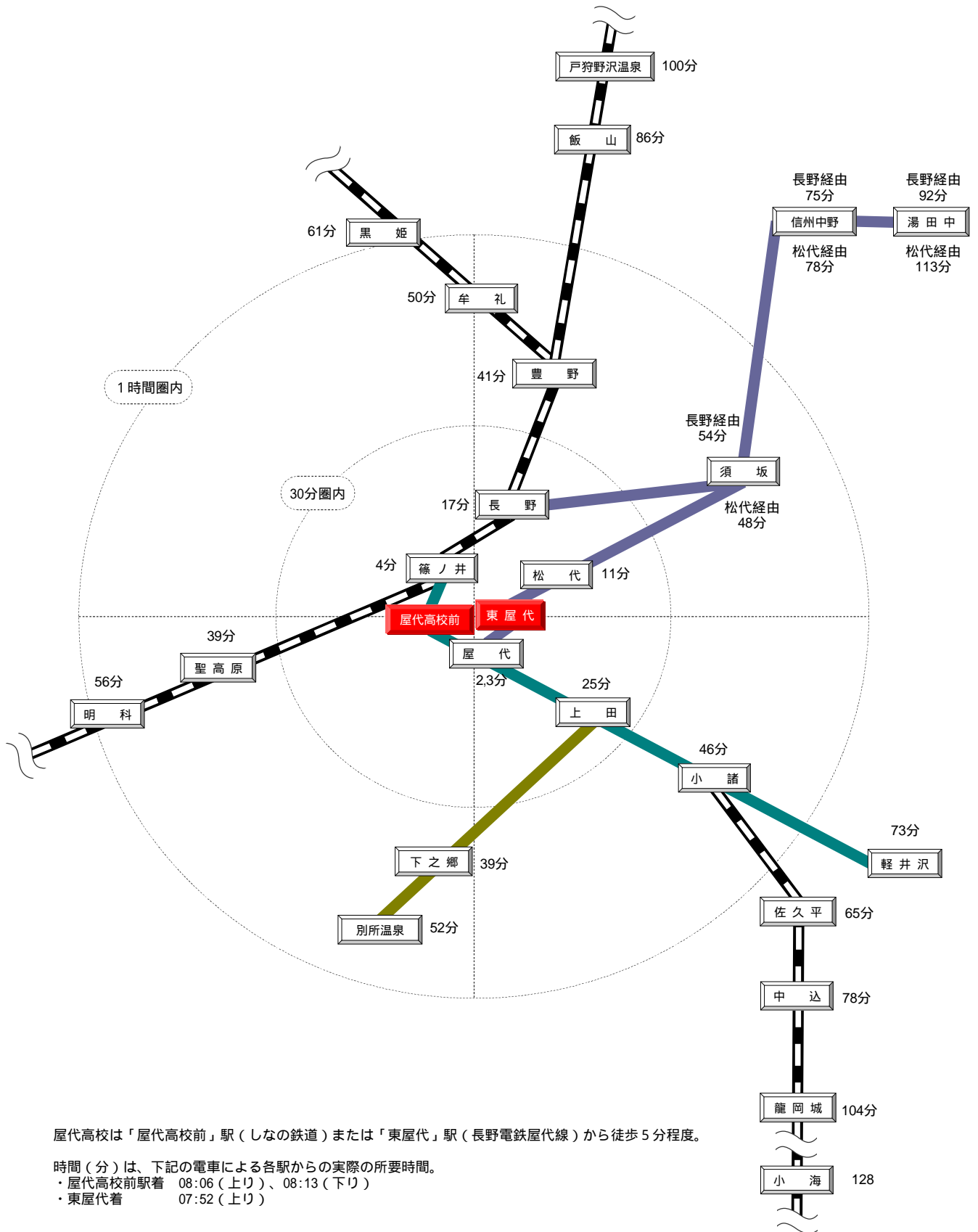


小学校数と卒業予定者数

旧通学区	市町村 教委名等	学校数	卒業予 定者数	備 考
1	飯山市	8	260	
	下水内郡	3	16	
	下高井郡	4	81	
	小 計	15	357	
2	中野市	11	520	
	須坂市	11	551	
	上高井郡	2	212	
	下高井郡	4	145	
小 計	28	1,428		
3	長野市	56	3,546	分校 2 校含む
	上水内郡	12	256	
	千曲市	9	644	
	埴科郡	3	157	
小 計	80	4,603		
合 計	123	6,388		

旧通学区	市町村 教委名等	学校数	卒業予 定者数	備 考
5	上田市	25	1,604	
	東御市	5	350	
	小県郡	3	104	
	小 計	33	2,058	
6	小諸市	6	455	
	佐久市	16	1,088	
	南佐久郡	12	296	
	北佐久郡	6	397	
小 計	40	2,236		
合 計	73	4,294		

屋代高校までの鉄道の所要時間（主に東北信地区）



屋代高校は「屋代高校前」駅（しの鉄道）または「東屋代」駅（長野電鉄屋代線）から徒歩5分程度。

時間（分）は、下記の電車による各駅からの実際の所要時間。

- ・屋代高校前駅着 08:06（上り）、08:13（下り）
- ・東屋代着 07:52（上り）